

## 令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人下志津学園 認定こども園四街道さつき幼稚園

### 1. 園の教育目標

- ・健康で明るい子
- ・自然や美しいものに感動する心を持つ子
- ・自ら学び自ら考える子
- ・自立心自己抑制力のある子
- ・他人を思いやる心を持つ子

### 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- ・研修の充実
- ・長時間保育実施体制の整備
- ・保護者との連携

### 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価	取組状況
研修の充実	A	・1学期後半から夏休みにかけて、療育についてのオンライン動画研修を実施し、常勤保育教諭だけでなく、非常勤保育教諭についても希望者は全員受講できる環境を用意した。積極的な活用があった。若手保育教諭を中心に園内研修を実施し、担任を交代して自らのクラスを客観的に見る機会を作ったり、号をまたいだクラスの担任の経験をしたりしながら、視野を広げられるような機会を作った。
長時間保育実施体制の整備	B	・どんぐりルーム利用希望者の増加に対応するため、朝のどんぐりルームについては1号認定担当保育教諭2名とどんぐりルーム担当保育教諭1名、あわせて3名で保育に当たるようにした。これにより、夕方の保育についてはどんぐりルーム保育教諭の人数を確保できたため、丁寧な保育につながった。
保護者との連携	A	・コドモンアプリを利用した連絡帳やドキュメンテーションによる画像の配信により、保育の様子を積極的に伝えるようにした。保育のねらいや、内容、様子を具体的に伝えることができた。保護者会では短い時間であったが動画を利用した保育場面の共有も行った。

(A…非常に成果があった B…成果があった C…あまり成果がなかった D…成果がなかった)

### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の、総合的な評価結果

評価	理由
B	<p>各項目について、成果を上げることができたが、一方で課題も残る状況となった。職員の研修については、オンライン動画研修の契約により、常勤職員だけでなく、学びたい意欲のある非常勤保育教諭が積極的に学ぶことのできる環境を作ることができた。次年度も継続してそのような機会を作っていきたい。園内研修についても今年度を契機により活性化させることができるように取り組みたい。また他園の保育を見せていただくような機会を作りたかったが今年度実施できなかったため、次年度の課題としたい。</p> <p>長時間保育実施体制の整備では、夕方のどんぐりルームの保育教諭の数を確保することにより成果があった一方で、1号認定クラス担任については、朝の保育に入ることによる負担感も大きくあった。次年度はどんぐりルーム担当保育教諭と1号認定クラス担任の分掌を再構成することで負担を軽減するとともに、1号、どんぐりの連携は継続して良い方向に進むように配慮していきたい。</p> <p>保護者との連携については、アプリを利用した保育内容の共有、連絡事項の伝達などがしっかりと定着してきた。保護者会での動画による保育の共有については、お試し程度になってしまったため、次年度も継続していきたい。</p>

(A…非常に成果があった B…成果があった C…あまり成果がなかった D…成果がなかった)

## 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の取り組みを継続しながら、より積極的に研修への参加を進め、保育教諭の資質向上を図る。外部研修への参加の機会も増やすとともに、他園の保育を見学する機会を作り、視野を広げ、自園の保育内容の見直しや改善につなげていく。</li> <li>・日々のミーティングの中で事例検討をする機会を持ち、こども理解や保育実践の充実を図る。</li> </ul>
小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年長組による学校見学の継続、充実を図るとともに、授業参観等を依頼、訪問し、小学校教育の理解の推進を図る。</li> <li>・架け橋期のカリキュラムについては、四街道市教育委員会の進めるカリキュラム作成の情報を得るとともに、作成、実施に向けて検討を進める。</li> </ul>
情報発信の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの取り組みを継続しながら、保護者向けにアプリでのドキュメンテーションの配信や、園だよりでの保育の様子を発信する中で、内容の充実を図る。また、情報の発信先や、発信方向の多様性も検討しながら、地域に園の情報を積極的に発信していく。</li> </ul>

## 6. 学校関係者評価委員会の評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・画像や動画の発信については、保護者との円滑なコミュニケーションをとっていくために非常に効果的であると感ずる。継続して積極的に進めてほしい。</li> <li>・園の雰囲気、良い意味で変わらない。職員が変わったり、保育時間が伸びたり、変化してきたところもたくさんある中で、園として大切にしていることは変えずに、このまま残して欲しい。</li> <li>・保護者としてお子さんを園に通わせていた方が、職員として働いているケースが多くあると聞く。園の保育方針を理解されていることもあり、お互いにメリットが大きいのではないかと。</li> <li>・父親対象の里山クラブが休止中とのこと、平日の実施も検討してはどうか。 →平日実施の園芸クラブに参加してくれる父親も増えている。今後検討したい。</li> <li>・近隣小学校は運動会を平日に実施しているところも多い。土日の行事を減らし、職員の勤務改善を図るのはどうか。 →現在、運動会やおたのしみ会が土曜日開催ある。現状では変更は考えていない。時代の流れもあり検討の余地はあるが、行事後の午後に保育が必要という声が出てきたときに難しくなるため、慎重に検討したい。</li> <li>・保護者に協力をお願いし、研修等を実施する日を設けるのはいかがか。 →福祉の視点から難しいところも大きい。保護者の協力が得られる状況があれば、集中して研修を行ったり、環境整備をしたり、上手に活用したい。</li> <li>・保護者アンケートの中で、災害や不審者などへの安全対策のための環境整備が新しい項目として追加されたと思うが、園としての取り組みはいかがか。 →毎月の避難訓練を工夫して実施している。不審者対策もその中で実施しているが、職員間の対策の共有が中心で、不審者訓練へのこどもの参加は実施していない。今後の検討課題である。</li> </ul>
---